



Q1. 新型コロナウイルスはペット（犬や猫）や人に感染しますか？

A. 新型コロナウイルス感染症の流行が拡大して以降、様々な動物への感染が報告されています。

これまで、一般的な飼育環境で、新型コロナウイルスに感染した飼い主から犬や猫へ感染した事例が、世界で数例報告されている他、動物園では大型ネコ科の展示動物への感染も確認されています。また、感染実験においては、猫がウイルスに感染する可能性があることが示され、実験環境等、特殊な環境下では、猫⇄猫 感染も起こり得るとされています。

オランダやデンマークのミンク農場でのミンクでの集団感染事例についても、非常に狭い施設の中に多数のミンクが飼育され、排泄物等の粉じんが舞うような状況であったことが報告されています。

このミンクの事例は、実験環境に類似する特殊な環境であったと認識しており、オランダ政府広報によると、新型コロナウイルスとペットに関連するアドバイスの内容に変更はないとしています。

したがって一般社会に置きかえると、多頭飼育崩壊等の劣悪な環境下では、人がその環境に新型コロナウイルスを持ち込んだ場合、人から猫に感染したのち、猫間での感染や、排せつ物等による環境の汚染等が起こる可能性はあると考えられますが、適切な飼育環境下では、このようなクラスターが起こる可能性は極めて低いと考えます。

アメリカ疾病予防管理センター（Centers for Disease Control and Prevention）の情報アップデートにおいても、動物が新型コロナウイルス感染症の拡大に重要な役割を果たすという証拠はなく、人への感染拡大に動物が関与しているリスクは低いとしており、

現時点でも、本会を含め世界の多くの専門家は、伴侶動物を日常的に検査する必要はなく、新型コロナウイルス感染症は人から人へ感染する病気であり、人からペットに感染した（ペットからウイルスが検出された）としても、さらにペットが人に病気を移す可能性は限りなく低いだろうと考えています。

今後も人との接点があるペットやその他動物に関する様々な報告が行われることが予想されますが、冷静に情報を取捨選択し、落ち着いて対応くださいますようお願いいたします。

【対策のポイント！】

飼い主が新型コロナウイルスに感染しないことがペットを守るためにも大事であり、動物の福祉が守られ、適切な衛生状態を維持できる飼育環境を守ることが、飼い主の責任であり、対策になります。

Q2. 犬の散歩や運動ではどんなことに気をつければいいですか？

A. 繁華街等への外出や都道府県をまたいでの移動の自粛が求められている中ですが、犬の散歩や運動については、犬の健康のためにも続けていただいてもかまわないでしょう。

【対策のポイント！】

ただし、人や犬が多数集まる公園等に連れていくのは避けるべきです。散歩や運動は必ずリード（引綱）でつないで行ってください。人混みを避けたルートを選び、飼い主同士の立ち話は避け、通行人や他の動物とは1.8m程度の距離を保つようにしましょう。ドッグランの利用は人や犬が集まる場所になりますので、できるだけ控えてください。帰宅時には手洗い等の感染対策を忘れないように励行してください。

Q3. 犬や猫にも「コロナウイルス感染症」があると聞いたことがあります、それは人にうつりますか？

A. 犬や猫にも固有のコロナウイルス感染症があります。
しかしコロナウイルスは「種特異性」※が高いため、これまで犬猫で報告されている「コロナウイルス感染症」が、人を含めた他の種の動物に感染したという報告はありません。
犬の場合は軽い下痢症状、猫の場合は伝染性腹膜炎を起こしますが、どちらもまれな病気です。
犬のコロナウイルス感染症が猫にうつったり、あるいは猫のコロナウイルス感染症が犬にうつったりするのは一般的ではありません。

※「種特異性」とは

形態あるいは機能のうえで、ある種は共通にもっているが、他の種には認められない特色。

Q4. 私は新型コロナウイルスに感染しました。ペット（犬猫）とどう接すればいいですか？

A. あなたが入院される場合は、お友達やご家族等、他にペットの世話をしてくださる方がいらっしゃるようでしたら、その方にお世話をお願いしてください。

- ・ご家族がお世話する場合も、どなたかに預ける場合も、感染対策を十分に講じてください。
- ・お世話する方にペットを預ける際には、感染した方と預かる方が直接顔を合わせることがないように工夫することや、キャリーバッグや首輪、リード等は、0.05%に薄めた次亜塩素酸ナトリウム液で拭いた後、塩素を拭き取るためにもう一度水拭きしてお渡しする等の感染対策を行いましょう。

※ 2020.07.08

「新型コロナウイルスに感染したヒトがかっているペットを預かるために知っておきたいこと (Ver.4)」参照

【対策のポイント！】

感染が確認され、病院やホテルで療養する場合に備え、あらかじめ信頼できる預け先を考えておきましょう。

※2020.04.2

「あなたが万が一 新型コロナウイルス感染症にかかってしまう前に済ませておくべき ペットを預ける準備のポイント」参照

Q5. 飼っているペットが新型コロナウイルスに感染したのではないかと心配です。どうすればいいですか？

A. ご自身が感染者でない限り、ペットへの感染を心配する必要性は少ないと考えられます。
もし、ペットへの感染が心配であるなら人混みに連れて行かないようにし、できるだけ感染のリスクを減らすよう注意して生活します。

【対策のポイント！】

新型コロナウイルスに感染していた人とペットが濃厚に接触したことが分かっていて、その後ペットの体調が悪くなった、という場合には、かかりつけの動物病院に電話をしてください。
ペットを動物病院に連れていく前には必ず事前に連絡を入れてください。

参考文献：OIE Questions and Answers on the 2019 Coronavirus Disease (COVID-19)

<https://www.oie.int/en/scientific-expertise/specific-information-and-recommendations/questions-and-answers-on-2019novel-coronavirus/>

この記事は2020年7月9日時点の情報に基づいて作成しています。
今後、新しく得られた情報により、内容が更新されることがありますので、あらかじめご了承ください。
また、個別具体的な事象への判断を行うものではございません。